

	<h1>遠晴の丘</h1>	<p>由利本荘市立子吉小学校  <b>学校だより</b>          第 23 号          令和6年1月15日</p>
---	---------------	---

あけまして  
おめでとうございます

2024年は甲辰(きのえたつ)。「甲」は物事の始まりという性格があり、「辰」は成長の年。これまで努力してきたことが、ゲンと飛躍して、さらなる成長が期待できると言われています。本校の子どもたちが、年頭に立てた1年の目標を実現し、昇り竜の如く高く成長できる年でありますようお祈りいたします。

20日間の冬休みを終えて、子どもたちの元気な声と笑顔が学校に戻ってきました。今年の冬は、ほとんど雪が降らず、穏やかな新年を迎えることができたのではないのでしょうか。

しかし、その矢先、元日の能登半島地震、2日の羽田空港での航空機衝突事故等、衝撃的な出来事がありました。震災で亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災された地域の1日も早い復興を祈りたいと思います。

帰省や旅行等への影響はありましたが、本校の子どもたちも職員も無事に冬休み明けを迎えられたことに安堵しております。「日日は好日」何事もなく、安心・安全に過ごせる何気ない日々のありがたさを感じながら、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様に、この日々が続いてほしいと願っております。

保護者の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 冬休み明け集会(1/15)

冬休み明け集会は、子どもたちの健康状態に配慮し、各教室でオンライン参加という形式で行いました。校長あいさつに続き、県美術展、高橋宏幸賞などの紹介を行いました。

《「校長あいさつ」より》

この2024年は、2つの大きな出来事で始まりました。

一つ目は、1月1日に能登半島地震が発生しました。お正月の穏やかな家族団らんの時間を大きな地震が襲いました。由利本荘市も震度3、何度も揺れて怖かったですね。震源地の北陸地方では、建物の倒壊、津波、火災等で200人以上の尊い命が失われました。命が助かった2万人以上の方々も、家を失い、電気や水道のない中で不安な思いをしながら、不自由な避難生活を送っています。

ただ、今回のような大きな地震であれば、もっとたくさんの方が亡くなっていたそうです。運がよかっただけでしょうか？実は、去年の5月にも石川県は大きな地震に見舞われ、多くの方が、「地震のときの避難行動」や「避難場所や避難経路」を確認していたそうです。また、今から13年前の東日本大震災の教訓も生かされていたのです。私たちも、いつこのような災害が起きても自分の命を守るように、「見通しをもって準備しておく」ことが大切ですね。

二つ目は、1月2日に羽田空港で、航空機同士の衝突事故が起きました。被災地に支援物資を届けるために待機していた海上保安庁の飛行機と、着陸しようとしたJAL日本航空の旅客機が衝突し、大炎上していた映像は、みなさんも見ていたことでしょうか。残念ながら海上保安庁の飛行機の5の方が亡くなってしまいました。しかし、あれだけの事故だったにもかかわらず、日航機の乗員・乗客379人は18分間で全員無事脱出できました。ニュースでは、奇跡だと報道していますが、なぜ全員無事に脱出できたのでしょうか。そこには、「90秒で全員避難させる」訓練を積んだ、CAさんの的確な誘導がありました。そして、迫りくる炎に対してもパニックにならず、指示に冷静に従った乗客の行動もありました。自分だけ助かりたいと、我先に避難口に殺到したら、全員助からなかったでしょう。さらに、迫りくる炎と煙が立ち込める機体の中を、乗客全員の避難を確認して、最後に脱出した機長さんの責任感と勇気も忘れてはいけません。このようなことがあって全員が助かったのです。

あるデータによれば、飛行機で死亡する確率は約20万分の1。20万回に1回です。一方、自動車による事故で死亡する確率は0.9%。だいたい100回に1回です。飛行機の方が2000倍安全だそうです。それだけ、安全な乗り物にもかかわらず、「もしもの事故」に備えて、訓練したことが奇跡を起こしたといってもよいでしょう。

このことから、皆さんは何を感じましたか。もちろん、事故の原因を探ることは大切です。でも、起こるかもしれない想定外の事態に備えて、何度も訓練することの大切さ。やっぱりここにも、「見通しをもって準備しておく」ことの大切さがありますね。さらに、自分だけではなくみんなの命を考えた、「冷静な行動」の大切さを教えてくれたように思います。

# 本市の「全国学力・学習状況調査の結果概要」について

標記について、より多くの市民の皆様への周知を目的に、「学校だより」へ掲載するよう市教委より依頼（平成28年度より実施）がありました。つきましては、下記に掲載いたしますので、ご覧くださいませようお願いいたします。

なお、9/1発行の学校だより12号で本校の結果について概略等をご報告させていただきました。本校6年生の平均正答率は、国語76（県72）、算数69（県65）と、どちらも県平均を4P上回るという良好な結果でありました。

## 令和5年度 本市の全国学力・学習状況調査結果

### 1 調査の概要

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の改善を図る目的で、平成19年度から実施されています。全国の小学6年生と中学3年生が対象で、今年度は令和5年4月18日（火）に実施されました。

### 2 調査の内容

調査内容は、小学校が国語と算数、中学校は国語と数学に加え、英語が実施され、学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題が出題されました。また、調査する学年の児童生徒を対象とした学習習慣や生活習慣等に関する児童生徒質問紙調査と、各学校の校長が回答する教育環境等に関する学校質問紙調査が実施されました。

### 3 秋田県と全国の比較（今年度も、県の平均正答率は整数値で発表されています）

〈小学6年 平均正答率(%)〉

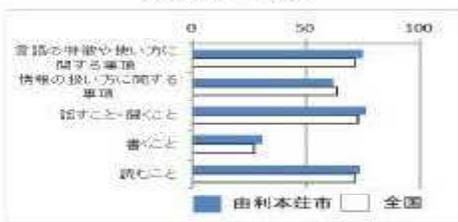
	国語	算数
秋田県	72	65
全国	67.2	62.5

〈中学3年 平均正答率(%)〉

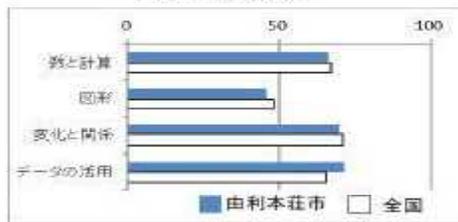
	国語	数学	英語
秋田県	74	52	44
全国	69.8	51.0	45.6

### 4 本市の結果について（授業改善に生かすため、領域ごとにグラフでの比較としています）

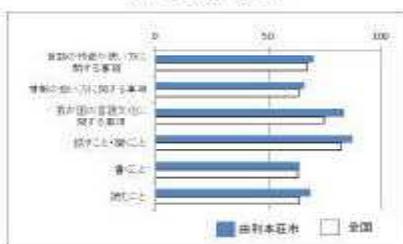
〈小学校国語〉



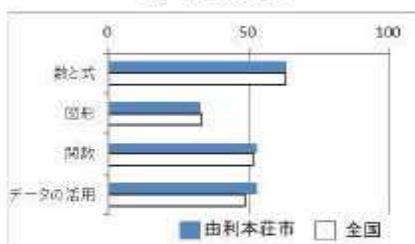
〈小学校算数〉



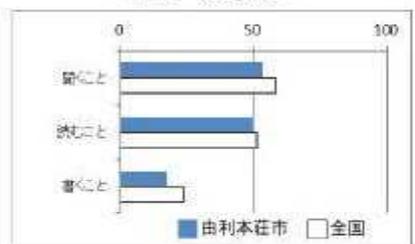
〈中学校国語〉



〈中学校数学〉



〈中学校英語〉



質問紙調査からは、小学校・中学校とも、将来の夢や目標をもち、自分自身を肯定的に捉えながら、学校に前向きに通っている児童生徒の割合が年々増加していることが分かりました。各学校における授業実践や先生方の関わり方が児童生徒によりよく反映されていること、保護者が温かく我が子に接していることが分かる結果となりました。その一方で、1日あたりの学習時間は減少傾向にあります。放課後や家庭における有益な時間の使い方について、さらに改善していく必要があると思われれます。

## 功績の紹介

よくがんばりました！

### 全国ホープス選抜卓球大会秋田県予選

男子4年生の部 第3位 工藤 ○○

### J A交通安全ポスター展

佳作 1年 すどう ○○

### 第64回秋田県児童生徒美術展

入選作品の中から、3年 佐藤 ○○さんの作品が話題賞に選ばれました。

